

耐空性勧告

パラグライダー Cargo L,DHV GS-01-0675-99 に関して

2008年8月16日、ウインチトーイング中にタンデムパイロットが重大事故に遭遇した。Airea 式 Cargo L タンデムパラグライダーが離陸した後、地上5－7 mの高さで失速した。地面に落ちた衝撃で、パイロットと同乗者は重傷を負った。そのフライトを録画していたビデオの解析によれば、この事故はパイロットの過失によるものではないことを示している。

過去に、このモデルのパラグライダーでほぼ同一の状況下で、類似した事故が起きている。どちらの場合も、パラグライダーのトリマーは完全にクローズされた状態であった。前の事故のときは、パイロットと同乗者を合わせた飛行重量がパラグライダーの耐空証明を得た重量限界以下であった。

DHVは以下の耐空性指令を発行する：

2008年8月16日の事故の解析が終了するまで、Airea 式 Cargo L パラグライダーはウインチによる発航に使用してはならない。

この指令はただちに効力を発揮する。

Gmund, 2008年10月1日

Karl Slezak

DHV Safety Manager

DHVは事故の解析が終了次第、更なる情報を公表する。